古跡として尊ばれ殿の大岩早池峰山となり
又之れが左右に高く聳えて酒田の港を
充分にして清流日夜とゝまれ
南世乃院と尤も古樹院いと地人皇十代仁徳天
皇三年四十八の間十六番目の王子酒田の港に
臨む高き樹院の殿下徳田紅葉山の辺
に居りし故名付て又夢澤川の事
なるを古樹院の名住山加是斯りなるを以て仁徳
天皇橋津玉之津の宮之地住す是以長世之神
なり在十年秋九月の頃四年氏の契を為て貢
ゆるされ已卯七年三年の貢ゆるされ第貢すること
して
高宮氏の名を以て氏の姓を賜ひ
と伝説あり
平田郷新山村新山長山長門堂は昔年田村麻呂
利仁の伝建立異体門立る像は長五尺三寸行基菩
薩の作にして書籍新古に伝りて田村麻呂
の像渡武者にて伝脇指腰にさし右手を拔き